学校番号	３０２６

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学演習 (GC:SAT)	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	College Panda SAT Math: Advanced Guide and Workbook（Nielsen Phu 出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

大学入試に使われるアメリカの SAT 試験の数学のテストを勉強し、練習していきます。中学３年から高校 3 年までのアメリカの一般的なカリキュラムの数学的スキルと内容を学びます。SAT 試験でよく使われる数学用語や、日米の数学の表記基準の違いに慣れます。また、海外の大学の数学の授業で成功するために必要な、適応性、自律性、不慣れな状況での回復力、外国人と異なる考え方への配慮などのスキル（数学的文脈での）を身につけます。

2　学習の到達目標

1　学習の自律
SAT と言う海外大学向けの受験勉強も含め、自己の目標を実現するために学習計画を立て自らの意思で学習することができる。また、学習に対して自律した態度を身に着けることにより卒業後も自らの意思で意欲的に学習できる素養を身につける。
2　数学に対する広い視野をもつ。教科書に書かれている数学が、数学のすべてではなく、数学とは無限に広がる学問であり身の回りに活用されているものだと深く理解する。
3　海外大学の数学の授業に対応できる。そのための数学で使われる英語力、思考力、応用力を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学における基本的な概念をさまざまな方法で表現する方法を理解し、説明しようとしている。また、数学的な概念を他者に説明する際、数学的な概念を用いて効果的に説明することができる。 身の回りの事象や、数学特有の事象について、数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	身の回りの事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。レポート課題等で、独自の視点から考察することができ、かつ数式や図を用いた数学的な表現が十分にできる。１つの問題に対し、複数の解答を示すことができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする。また、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする。自分の目標に対して、自分で計画を立て学習を進めることができる。目の前の課題に対して（宿題）、ただこなすだけでなく自身の能力を伸ばすように積極的に取り組むことできる
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数と代数	指数、平方根、指数的成長、比率、式、方程式、不等式、方程式系、複素数体、絶対値	(a) 基本的な知識が身についている。 (b) どのような場面でこれらの数学が活用されているか理解する。 (c) 積極的に学習に取り組んでいる。 (c) 宿題が期限通りに提出できている。	テスト	プロジェクト(教師が採点基準を作成)	ノートと宿題の完成
	関数	一次関数、一般線形モデル、二次関数、最適化		テスト		ノートと宿題の完成
2学期	幾何学	角、三角形、円、三角法、体積		テスト	プロジェクト(教師が採点基準を作成)	ノートと宿題の完成
	統計と確率	データの分析、統計学、確率		テスト		ノートと宿題の完成
3学期	総復習	SAT の模擬試験		テスト	プロジェクト(教師が採点基準を作成)	宿題の完成

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度